

中井町児童生徒表彰 候補者推薦

町では、文化・スポーツ活動またはその他の活動において、顕著な功績のあった児童生徒を表彰する、令和7年中井町児童生徒表彰を3月に行います。この表彰について、町民の皆さんから小・中学生の推薦を募ります。

表彰の対象者

令和7年1月～12月の期間に、文化または、スポーツの競技会、その他の活動において優秀な成績を収めた児童生徒で、中井町在住の小・中学生

應募方法

推薦書を生涯学習課へ直接またはメールでご提出ください。
推薦書は、生涯学習課で配布するほか、町ホームページからもダウンロードできます。

□ shougai@town.nakai.kanagawa.jp

応募期限

1月5日(月)まで

注意事項

表彰は、中井町児童生徒表彰に関する規則施行規程の表彰基準に則って行います。

推薦されたすべての候補者が表彰されるものではありません。

推薦書には、大会の要項や賞状の写しなど、推薦理由の根拠となる資料の添付が必要です。



町ホームページ
ID 3315

ちようちよう発



内赴任から始まるこの物語は、高橋さんの活動を軸に、骨材協同組合、ダンプ力

中村小学校で読み聞かせを12年間続けてきました。6年生に向けて読んだのは、芥川龍之介の『トロッコ』という短編（百年以上前の小田原—熱海間の軽便鉄道が舞台）と、もうひとつ、「あ、ダンプ街道」（佐久間充著、岩波新書）からの一文です。砂利採取が最盛期だった頃の中井町の様子が描かれています。害も無くなりました。これは「中井方式」高度成長期、建築資材などに使われる砂や砂利を採取場から運ぶダンプ街道は、全国に7000近くあり、40年前、暮らしの安定に繋がり、中井は「ダンプ売組合や松田署、町などの連携が描かれてきました。ます。組合により運賃が一定になり、運転手同士の競争がなくなり、安全優先の形が整いました。過積載で山のようになれた砂利は水平に積まれ、シートカバーマークが飛び出さなくなり、後続車への被害も無くなりました。これは「中井方式」と呼ばれ、結果的にダンプは傷みも軽減され、長く乗れるようになり、運転手の理想郷」と呼ばされました。

問題などが、運転手の実情も踏まえ、多角的にルポされています。その問題解決に繋がっている先進事例として、中井町が取り上げられました。

時を経て、コロナ禍の令和3年、わたしは町社会教育委員会議がオンラインで開催した里都まちづくりピクニックのため、千葉市に佐久間さんを訪ね、当時の

読み聞かせで6年生に「中井町について書かれた本つてあると思う」と尋ねると、たいてい「ない」と即答。そこで、が、自分の故郷、千葉県君津市がダン普本書の「型破り巡回の奮戦—神奈川県公害に苦しむ」とから、全国調査に乗り中井町」という文章を読み始めると、出しました。その模様は高橋さんの証言子どもたちは驚きます。

話を聞きました。佐久間さんは女子栄養大学名誉教授で保健社会学が専門でした
も含め、動画にまとめ

「まわりは田んぼで、前は県道を挟んで小川が流れしており、後ろの高台には学校らしきものが見える」。あれつ、みんなの学校も出てきます。いと思います。

ました。中井の人と歴史が紡いできた物語を引き続き探していくた



[https://youtu.be/
VLSuHiOCXBc](https://youtu.be/VLSuHiOCXBc)